

# 最近の経済動向

## 令和2年6月号

(北海道の景気動向～令和2年4月の経済指標を中心として)

### 新型コロナウイルスの影響により、低迷している

#### ■生産動向

P1 生産活動(鉱工業生産指数)

低下している

#### ■需要動向(消費・投資)

P2 個人消費(百貨店・スーパー・コンビニエンスストア・専門量販店販売額、  
インターネットを利用した一世帯支出額、新車登録台数)

低下している

P6 住宅建設(新設住宅着工戸数)

減少している

P7 公共工事(公共工事請負金額)

減少している

P8 観光(来道者数、来道外国人数)

引き続き悪化し停滞している

P10 輸出入(輸出額、輸入額)

輸出額、輸入額とも前年を下回った

#### ■企業倒産

P11 企業倒産(倒産件数、負債総額)

倒産件数、負債総額ともに減少した

#### ■雇用動向

P13 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、月間有効求人倍率、完全失業率)

弱い動きが続いている

#### ■物価動向

P15 物価(消費者物価指数)

消費者物価指数は前年を下回った

#### ■企業の業況感

P16 企業経営者意識調査

前期から下降している

P17 企業のみなさまから伺いました

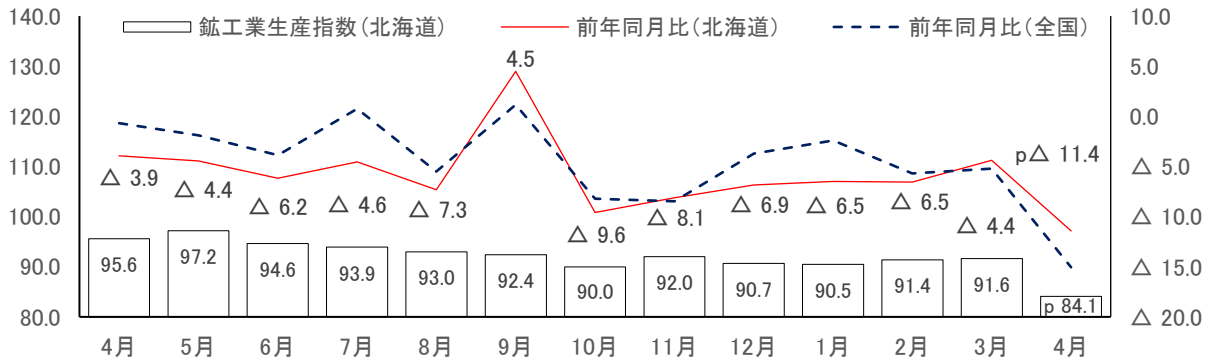
# 生産活動～低下している

## 鉱工業生産指数（4月）

鉱工業生産指数（季節調整済）は、84.1で前月比△8.2%（3か月ぶりの低下）であり、原指数による前年同月比は、△11.4%（7か月連続の低下）となった。業種別にみると、一般機械工業等13業種が前月比低下、プラスチック製品工業等2業種が前月比上昇となった

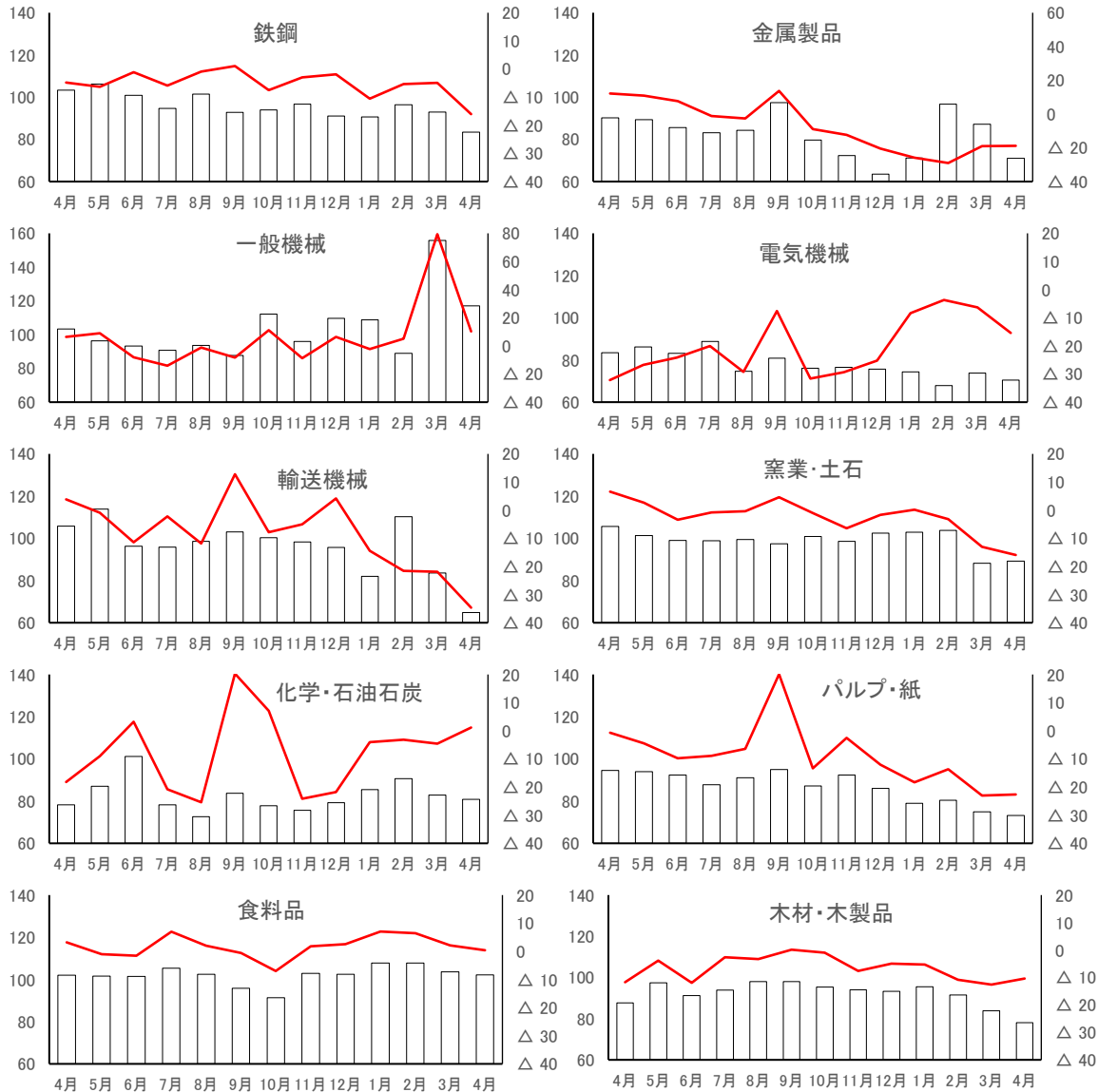
（季節調整済指数：平成27年＝100）

（原指数前年同月比：%）



## ■主な業種の季節調整済指数(右軸：原指数前年同月比%)

\*「p」は速報値

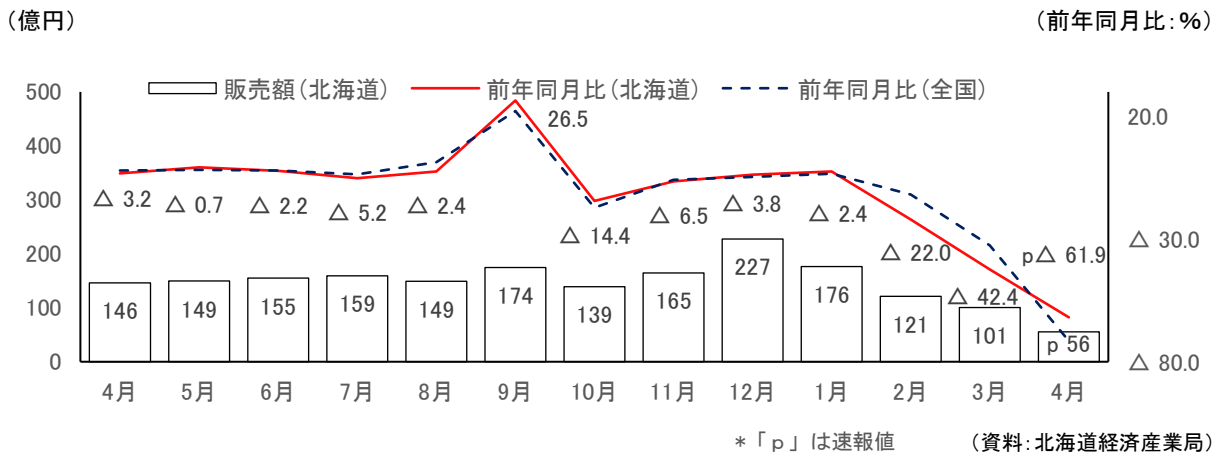


（資料：北海道経済産業局）

## ■個人消費～低下している

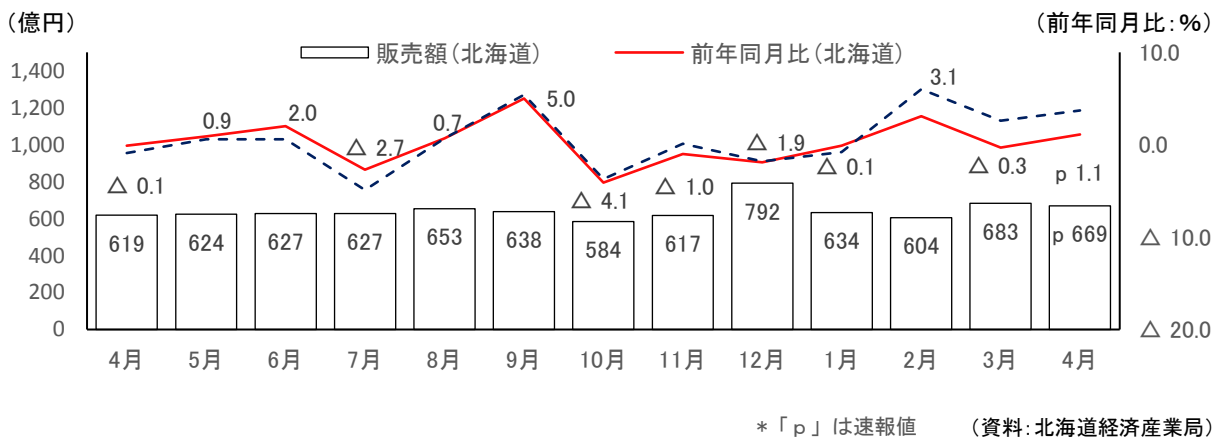
### 百貨店販売額（4月）

百貨店販売額は、56 億円で前年同月比 61.9%の減少となり、7 か月連続で前年を下回った。



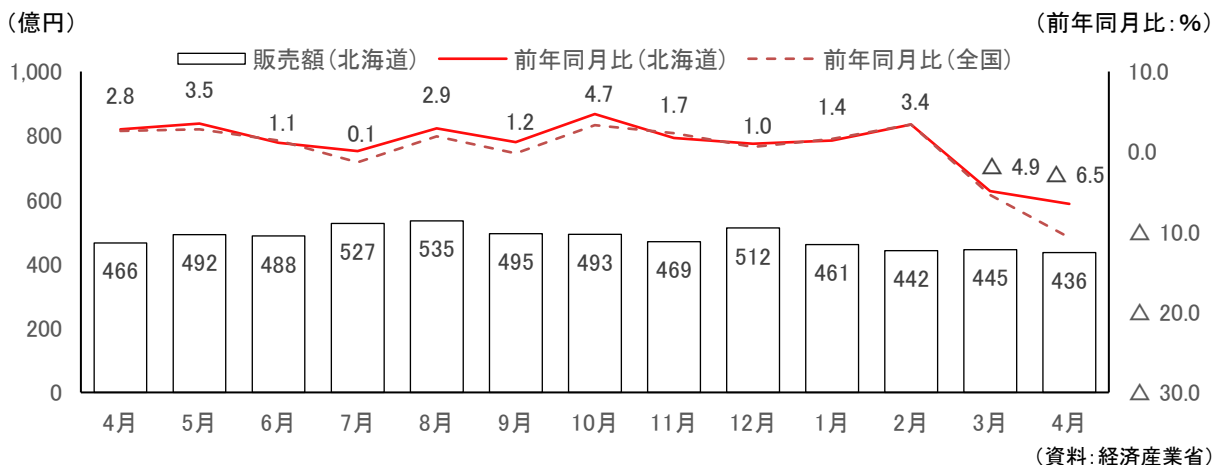
### スーパー販売額（4月）

スーパー販売額は、669 億円で前年同月比 1.1%の増加となり、2 か月ぶりに前年を上回った。



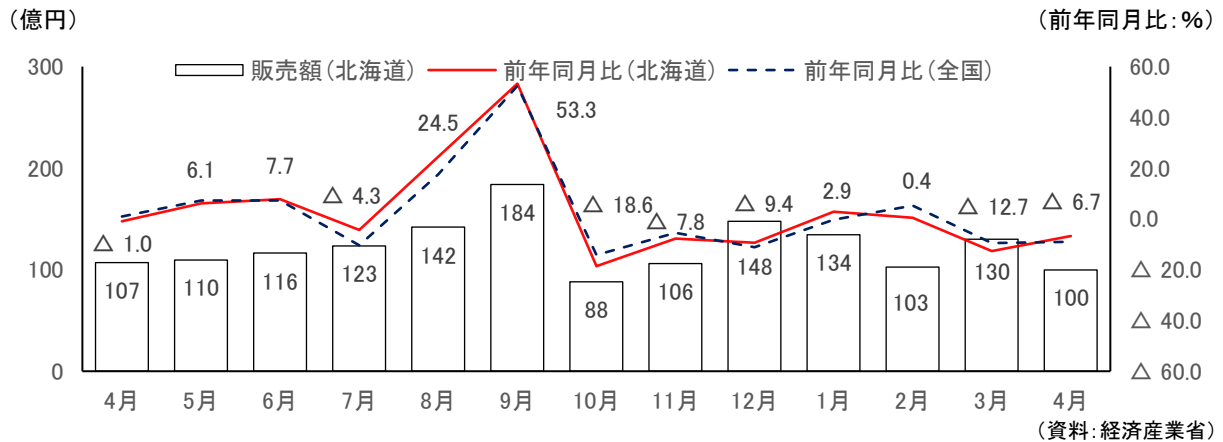
### コンビニエンスストア販売額（4月）

コンビニエンスストア販売額は、436 億円で前年同月比 6.5%の減少となり、2 か月連続で前年を下回った。



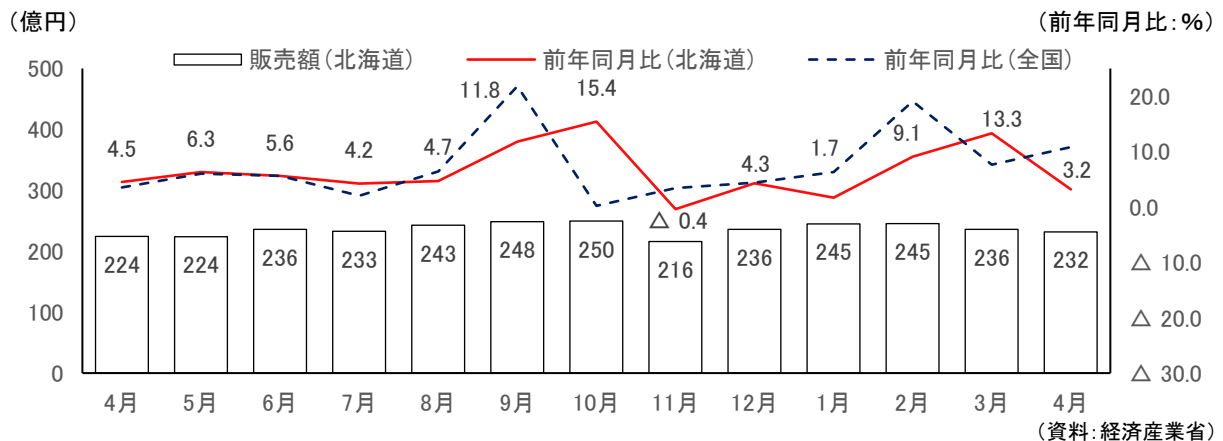
## 家電大型専門店販売額（４月）

家電大型専門店販売額は、100 億円で前年同月比 6.7%の減少となり、2 か月連続で前年を下回った。



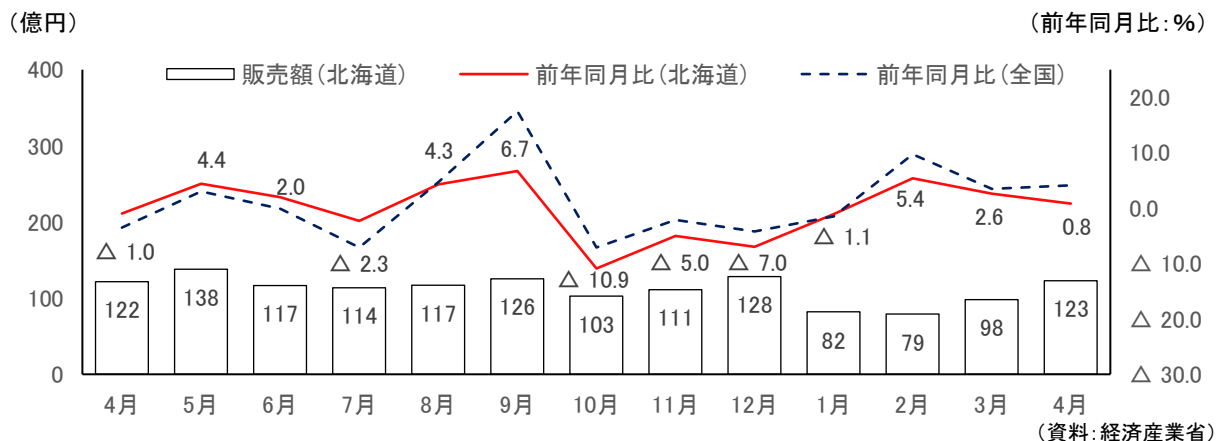
## ドラッグストア販売額（４月）

ドラッグストア販売額は、232 億円で前年同月比 3.2%の増加となり、5 か月連続で前年を上回った。



## ホームセンター販売額（４月）

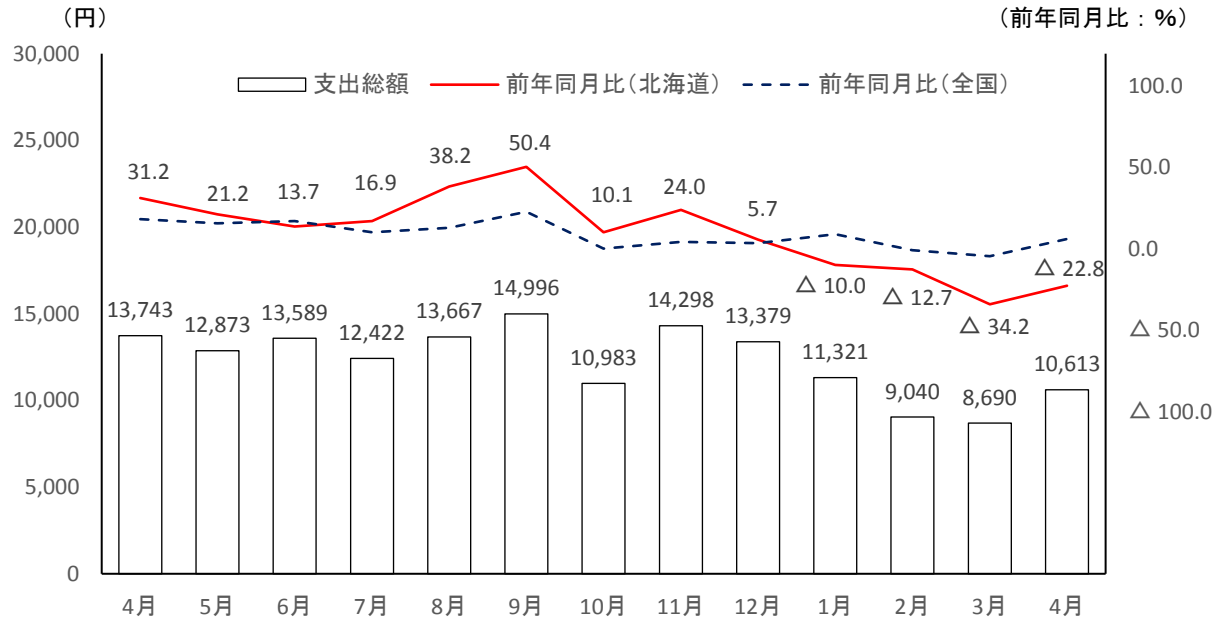
ホームセンター販売額は、123 億円で前年同月比 0.8%の増加となり、3 か月連続で前年を上回った。



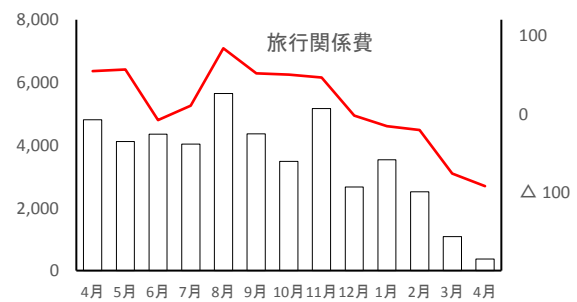
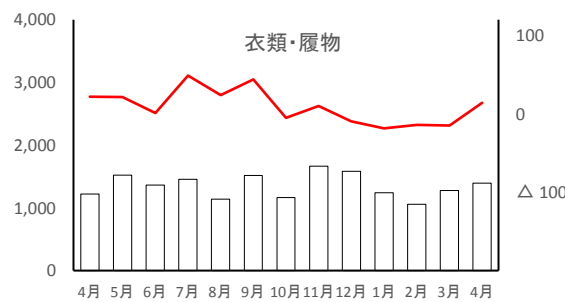
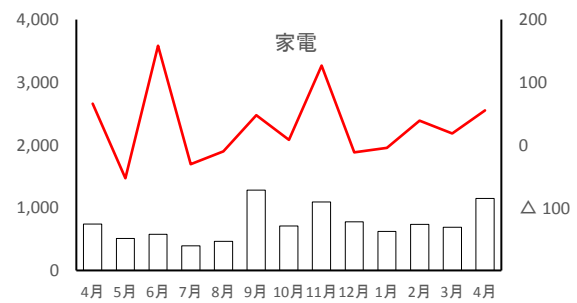
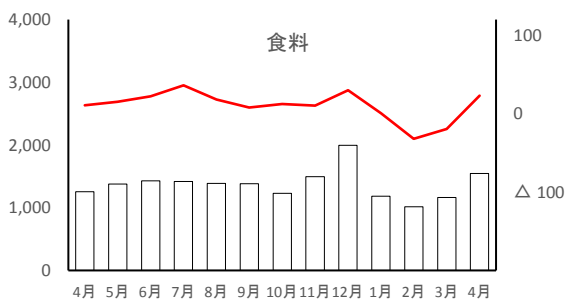
## インターネットを利用した1世帯当たり1か月間の支出（4月）

インターネットを利用した1世帯当たり1か月間の支出総額は10,613円で、前年同月比22.8%の減少となり、4か月連続で前年を下回った。

品目別にみると、食料は1,546円で前年同月比23.1%の増加、家電は1,148円で同55.3%の増加、衣類・履物は1,397円で同14.2%の増加となったものの、旅行関係費が373円で同92.2%の減少となった。



### ■品目別支出額（右軸：前年同月比%）

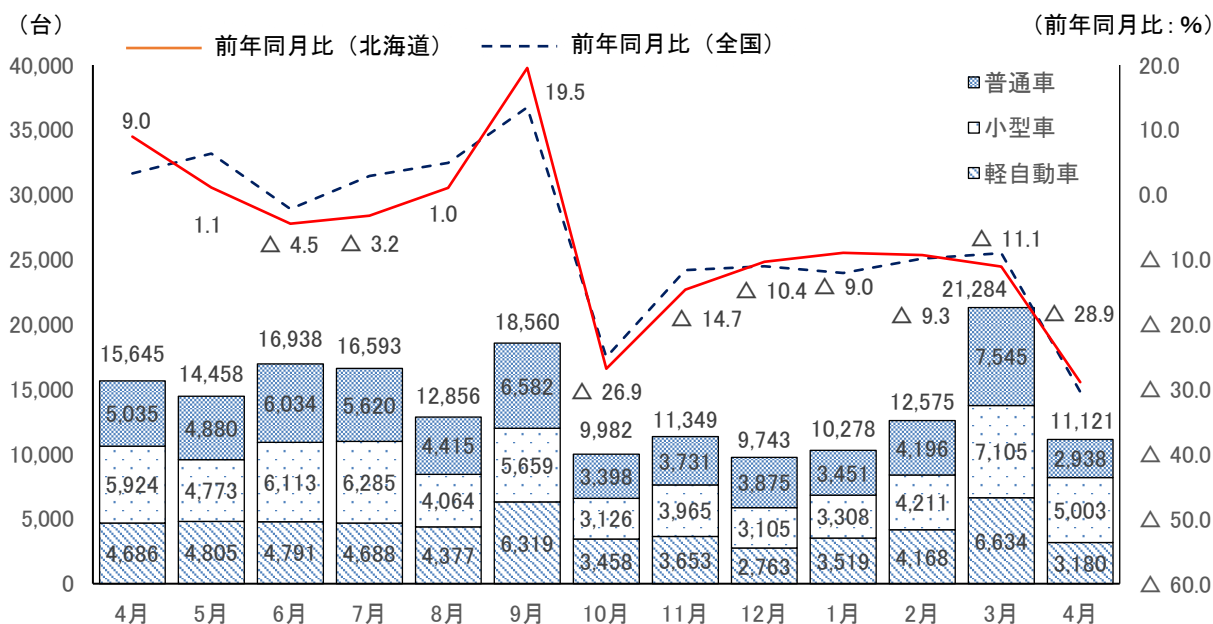


(資料：総務省)

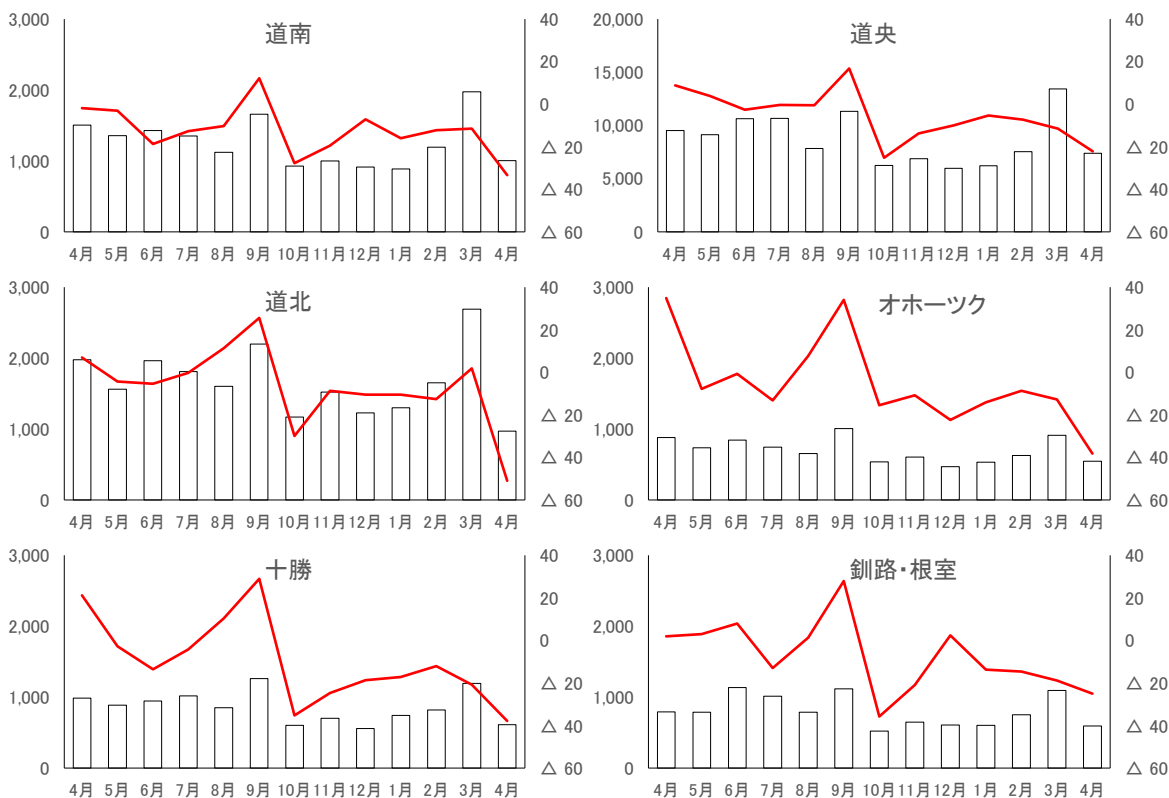
## 新車登録台数（4月）

新車登録台数は、11,121台で前年同月比28.9%の減少となり、7か月連続で前年を下回った。

車種別にみると、普通車は、2,938台で前年同月比41.6%の減少、小型車は、5,003台で同15.5%の減少、軽自動車は、3,180台で同32.1%の減少となった。



### ■各圏域の新車登録台数（右軸：前年同月比%）

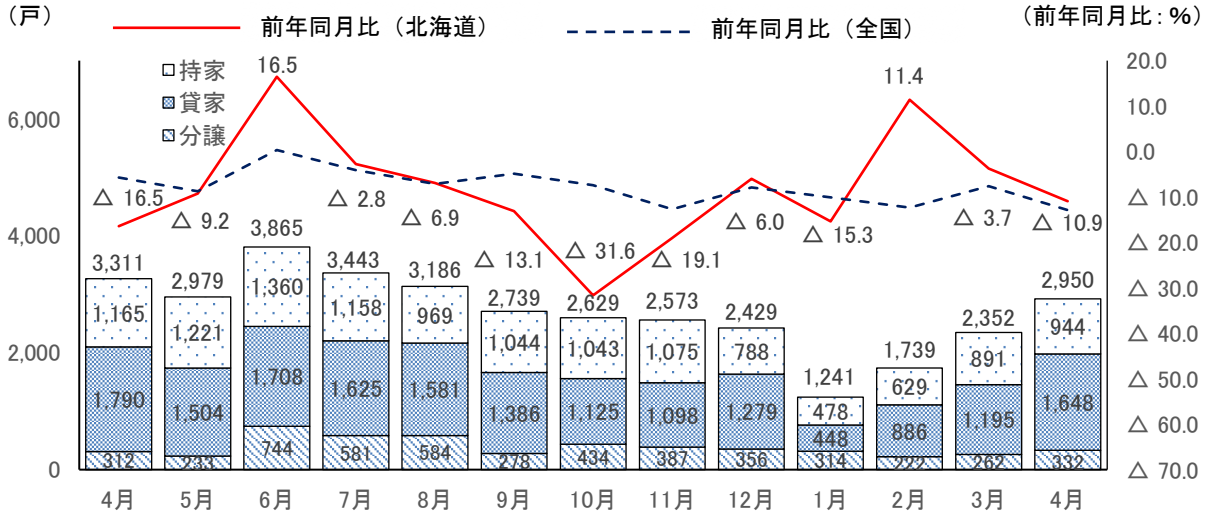


（資料：（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会）

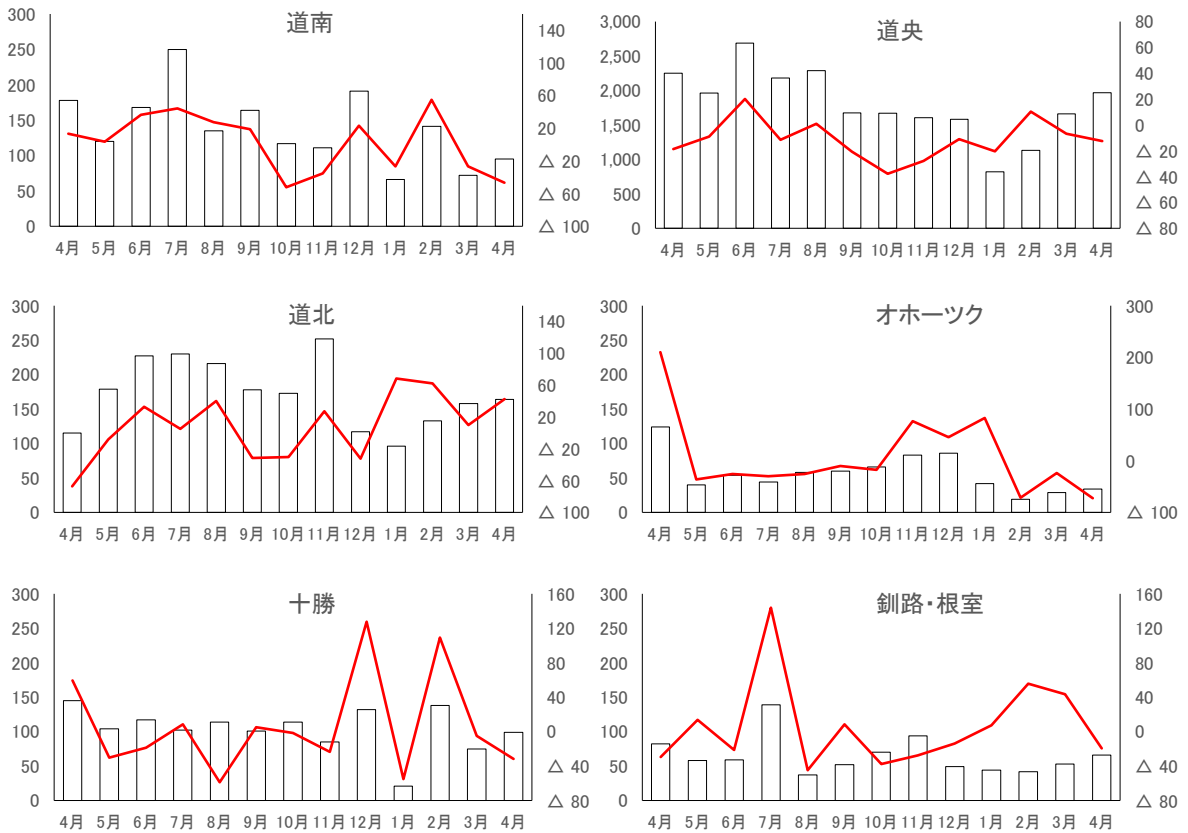
# ■住宅建設～減少している

## 新設住宅着工戸数（4月）

住宅着工戸数は、2,950戸で前年同月比10.9%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。  
 利用関係別にみると、持家は、944戸で同19.0%の減少、貸家は、1,648戸で同7.9%の減少、分譲住宅は、332戸で同6.4%の増加となった。



## ■各圏域の新設住宅着工戸数（右軸：前年同月比%）

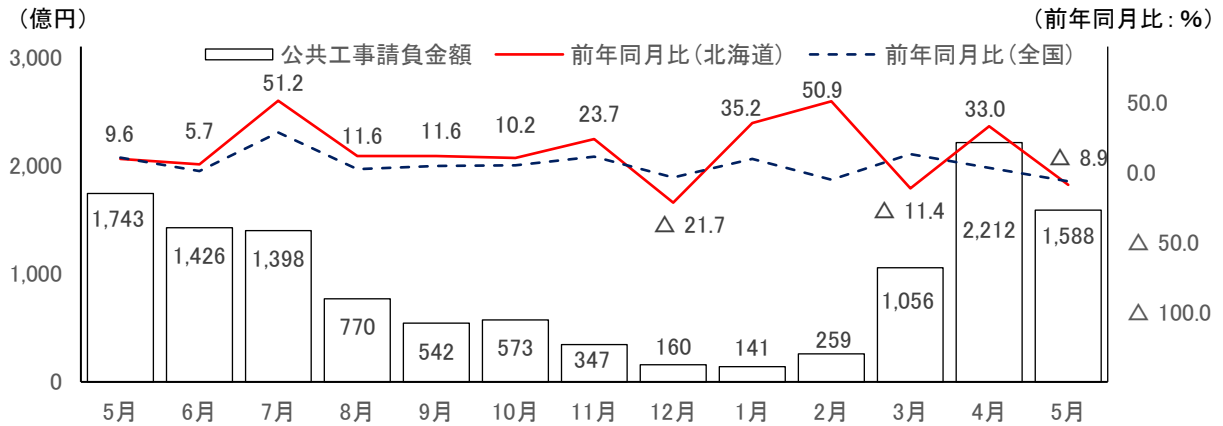


(資料：国土交通省)

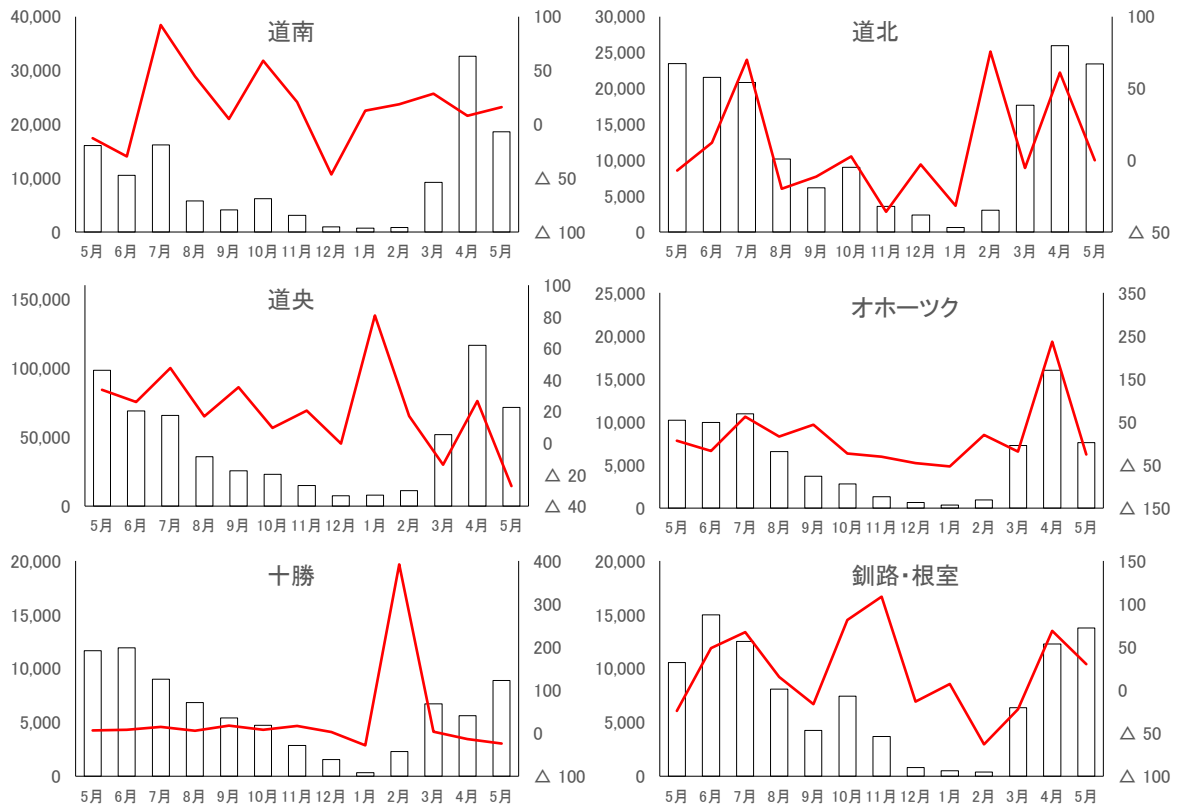
# ■公共工事～減少している

## 公共工事請負金額（5月）

請負金額は、1,588 億円で前年同月比 8.9%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。



## ■各圏域の公共工事請負金額（左軸：百万円、右軸：前年同月比%）



(資料: 北海道建設業信用保証(株))



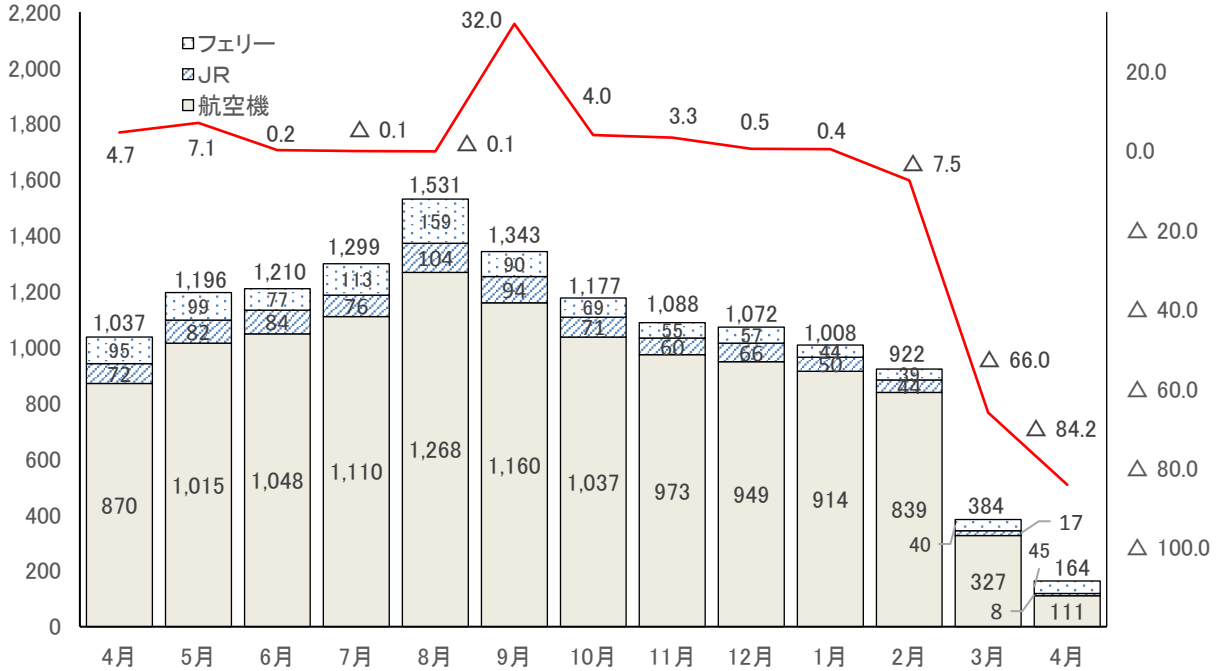
# ■観光～引き続き悪化し停滞している

## 来道者数（4月）

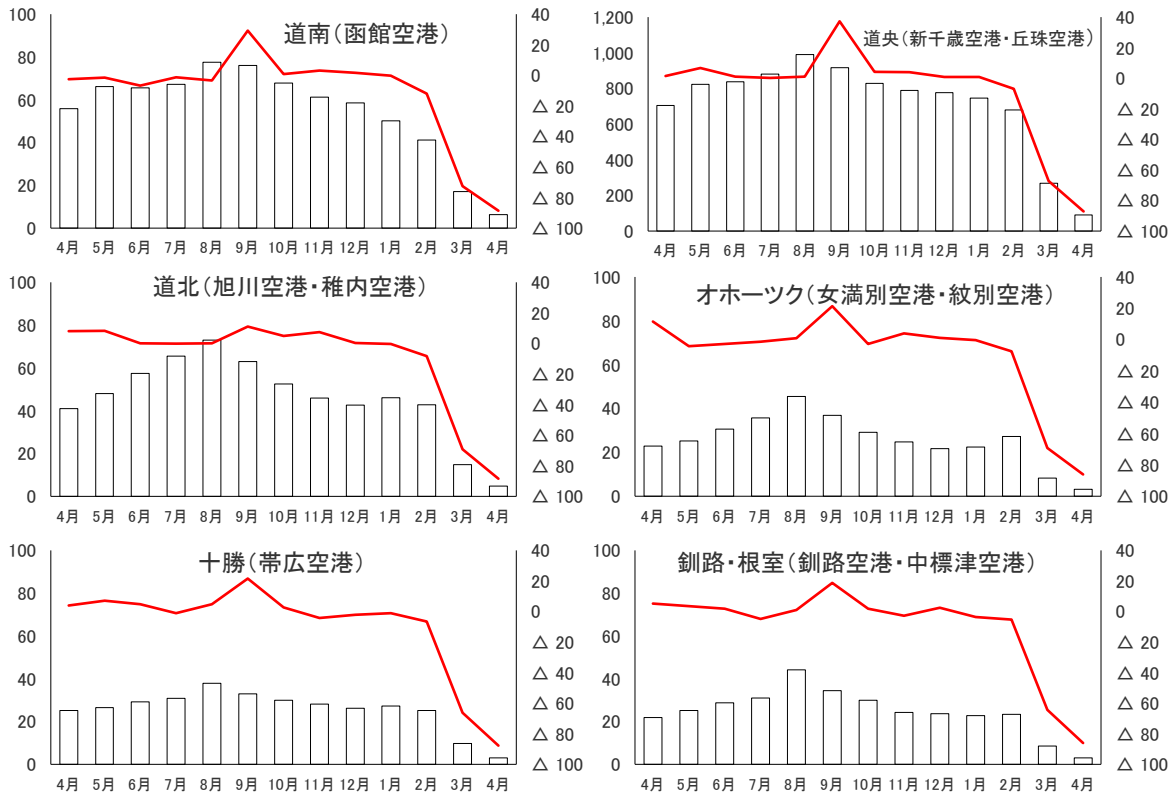
来道者数は、16万4千人で前年同月比84.2%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。

(千人)

(前年同月比：%)



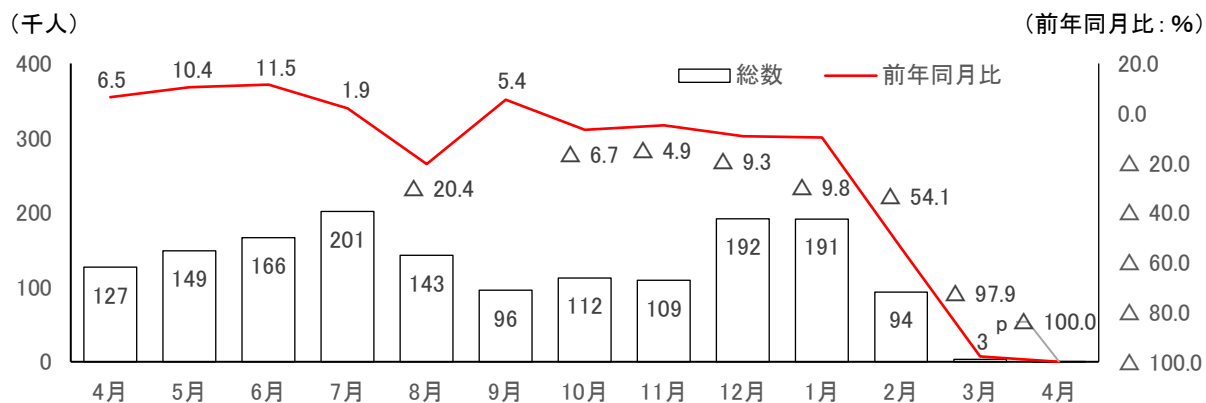
## ■各圏域の航空機利用による来道者数 (左軸：千人、 右軸：前年同月比%)



(資料：(公社)北海道観光振興機構)

## 来道外国人数（4月）

本道に直接入国した外国人は、1人で前年同月比100.0%の減少となり、7か月連続で前年を下回った。



\* 「p」は速報値 (資料: 法務省入国管理局)

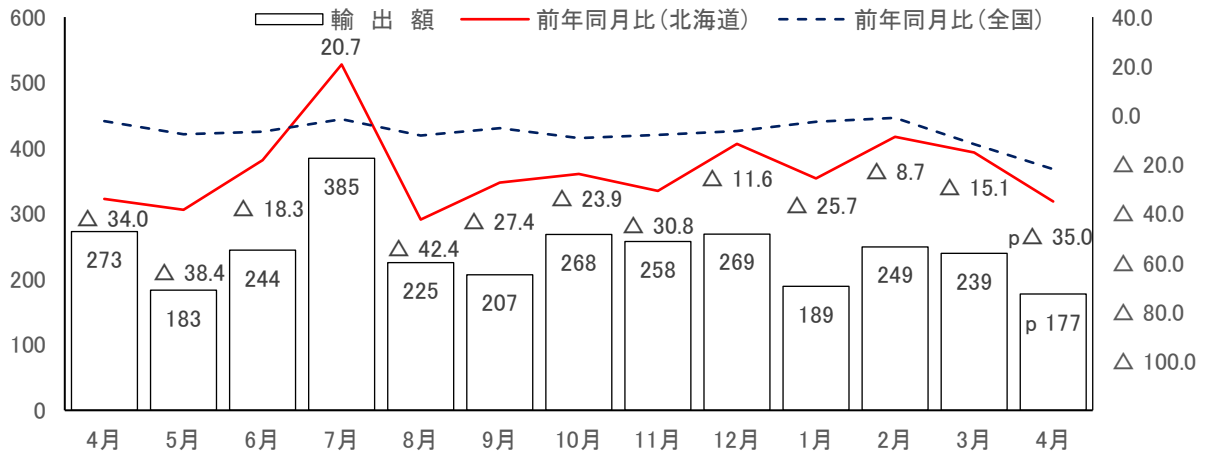
# ■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を下回った

## 輸出額（4月）

輸出額は、177億円で前年同月比35.0%の減少となり、9か月連続で前年を下回った。品目別にみると、輸送用機器、一般機械、鉄鋼などが減少した。

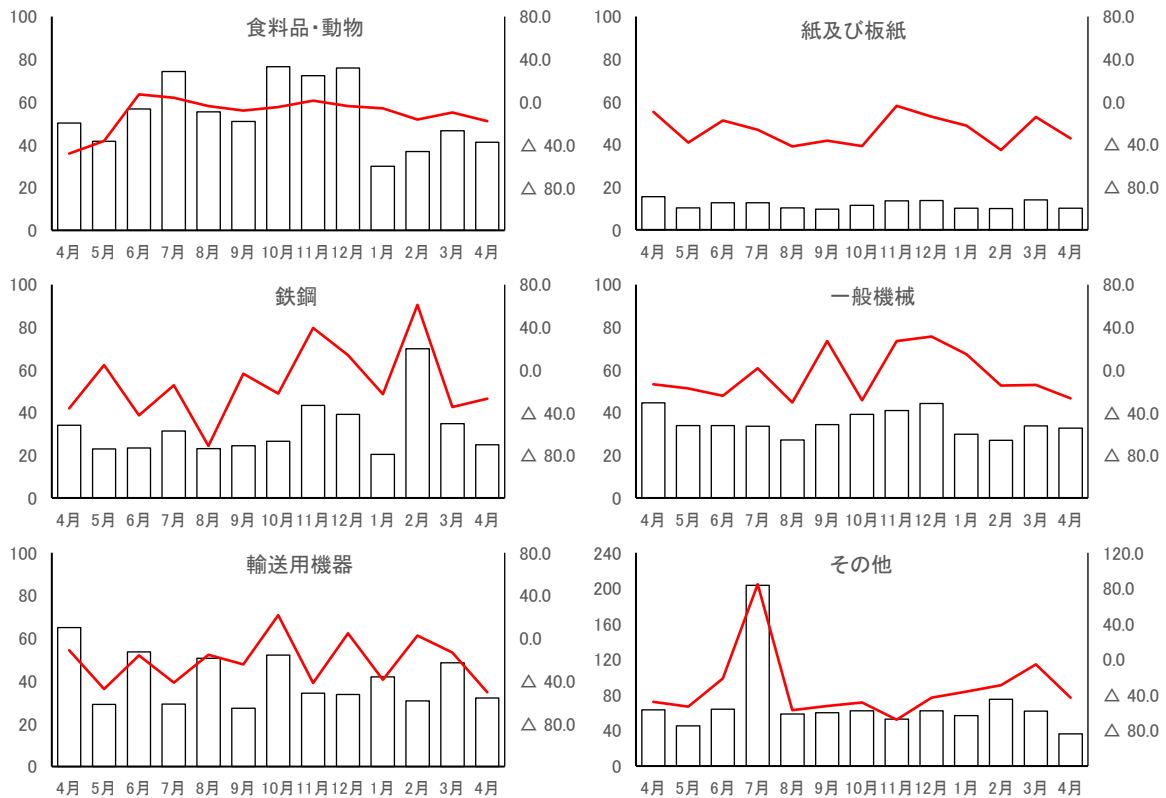
(前年同月比：%)

(億円)



\*「p」は速報値

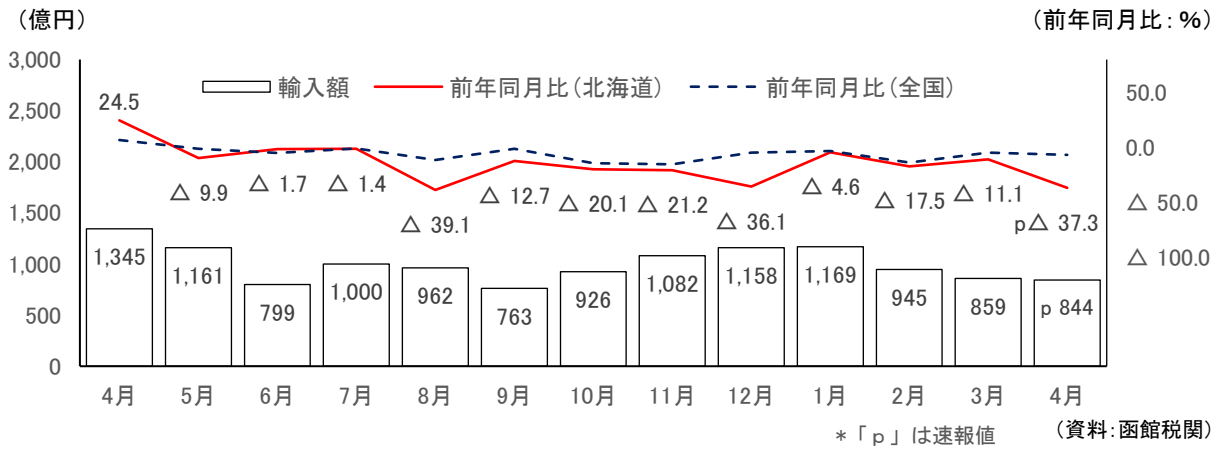
## ■種類の輸出額 (右軸：前年同月比%)



(資料：函館税関)

## 輸入額（4月）

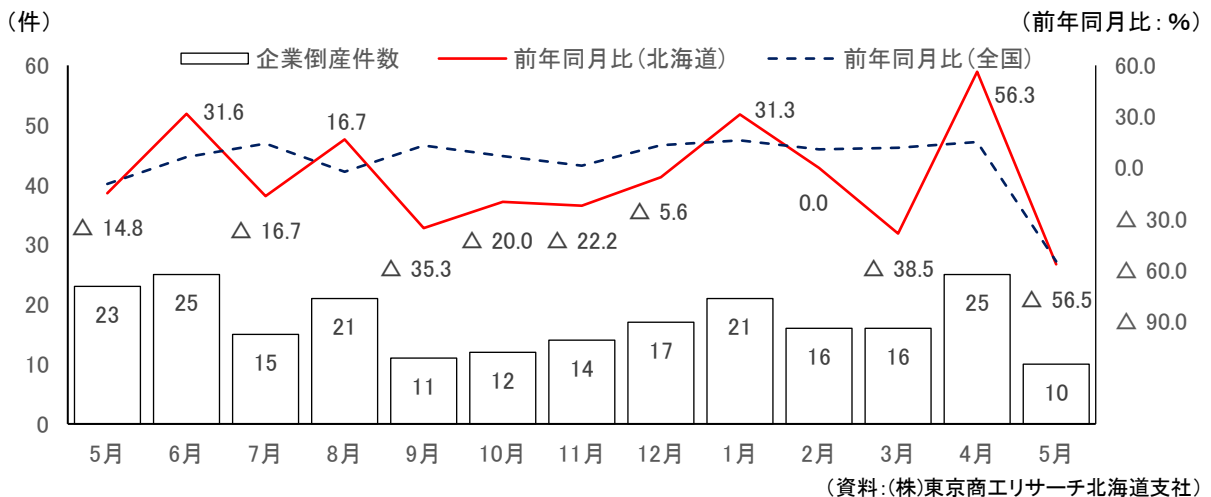
輸入額は、844億円で同37.3%の減少となり、12か月連続で前年を下回った。  
品目別にみると、原油・粗油、石油ガス類、一般機械などが減少した。



## ■企業倒産～倒産件数、負債総額ともに減少した

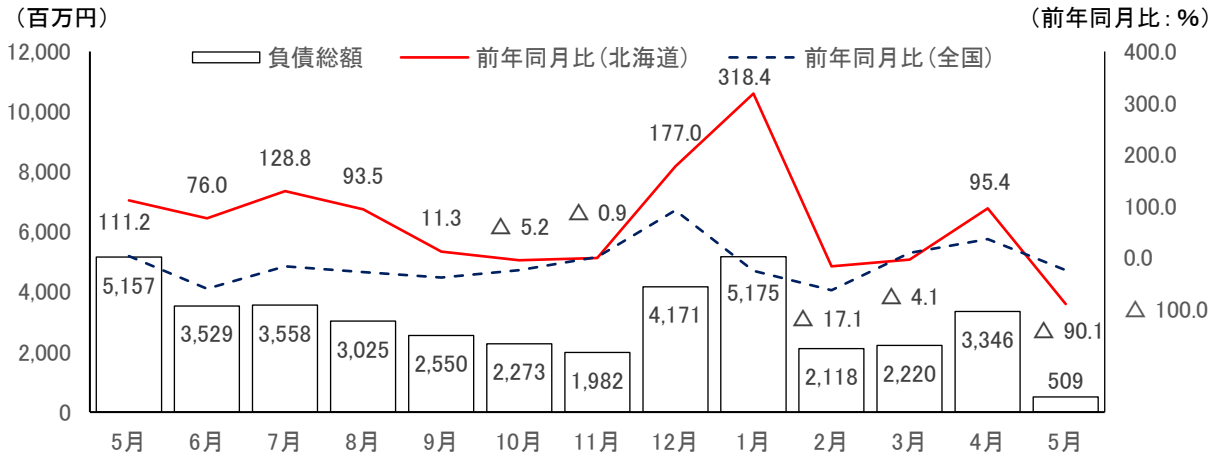
### 倒産件数（5月）

企業倒産件数は10件で前年同月比56.5%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。  
原因別でみると、販売不振が7件（構成比70.0%）と半数以上を占めた。  
業種別でみると、建設業が3件（同30.0%）、サービス業が3件（同30.0%）、卸売業が2件（同20.0%）となった。

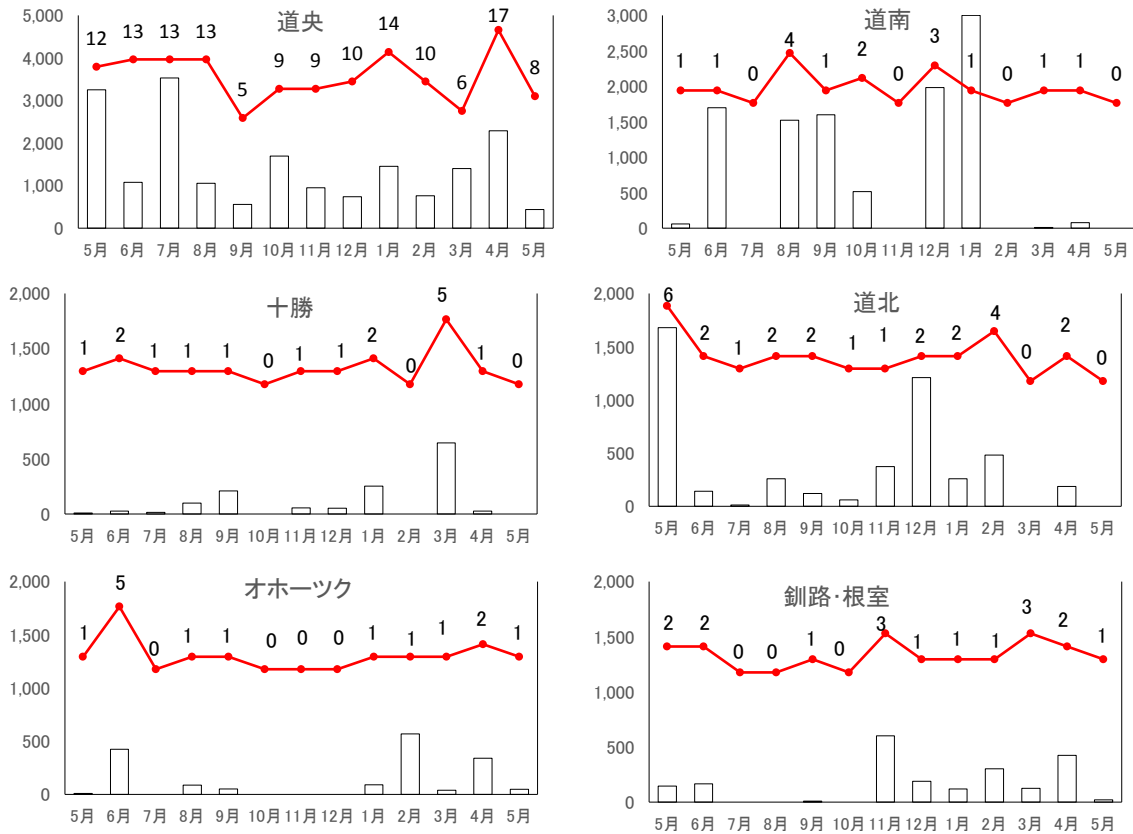


## 負債総額（5月）

負債総額は、5億9百万円で同90.1%の減少となり、2か月ぶりで前年を下回った。



### ■各圏域の負債総額と倒産件数（折れ線）

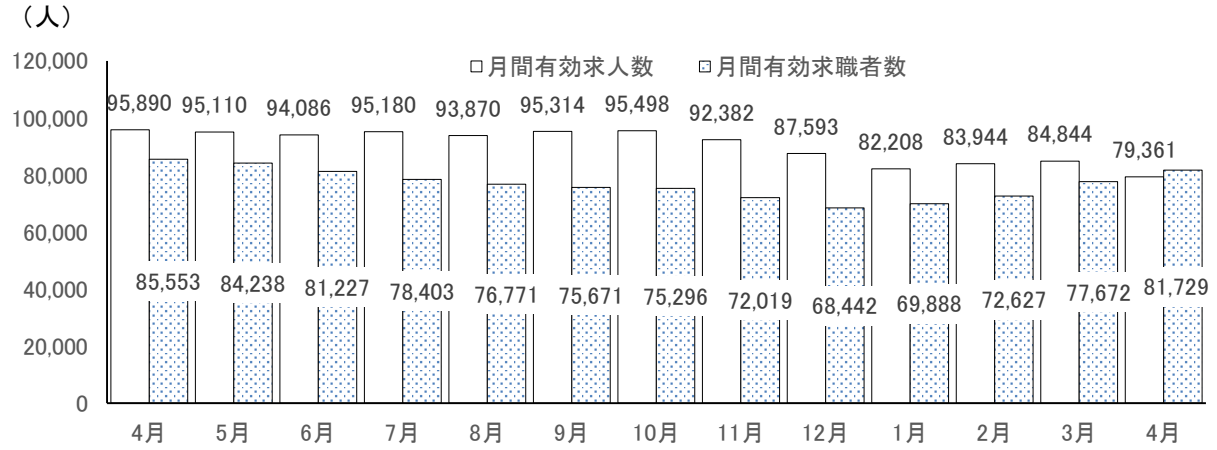


(資料:(株)東京商工リサーチ北海道支社)

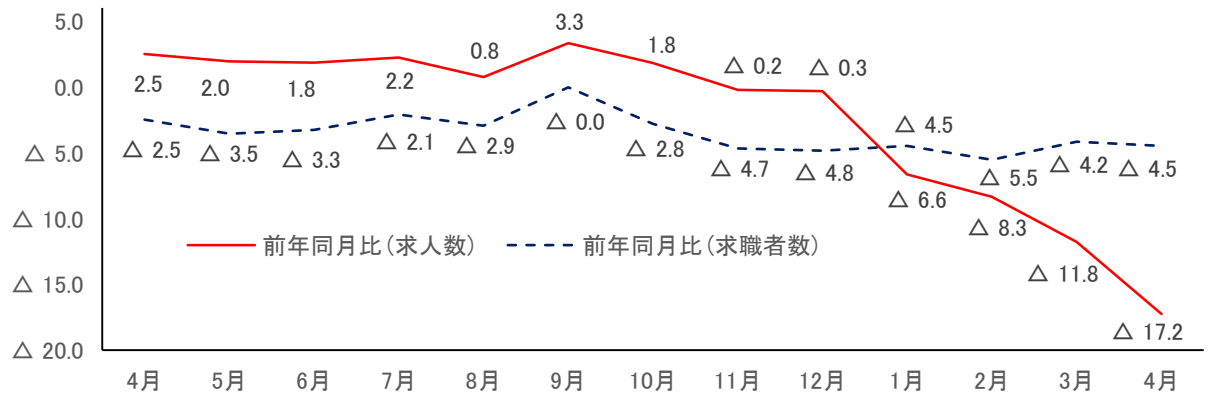
## ■求人・求職～弱い動きが続いている

### 月間有効求人数・求職者数（4月）

月間有効求人数は、7万9,361人で前年同月比17.2%の減少となり、6か月連続で前年を下回った。月間有効求職者数は、8万1,729人で同4.5%の減少となり、102か月連続で前年を下回った。



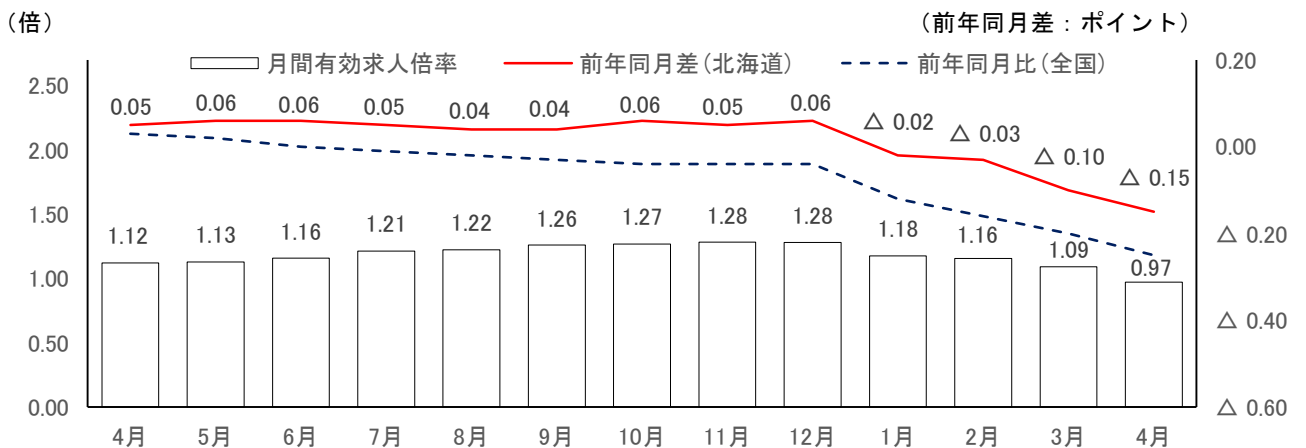
(前年同月比：%)



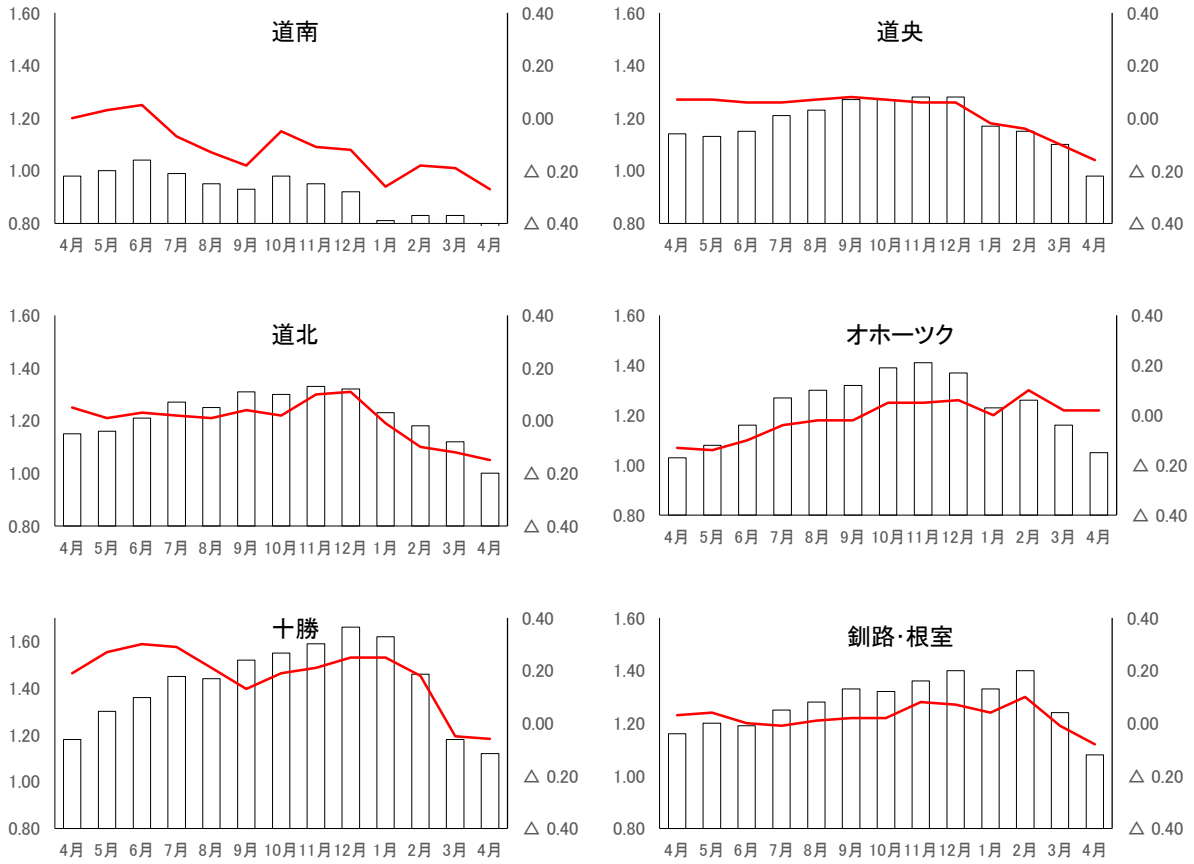
(資料：北海道労働局)

### 月間有効求人倍率（4月）

有効求人倍率は0.97倍で、前年同月差で0.15ポイントの減少となり、4か月連続で前年を下回った。



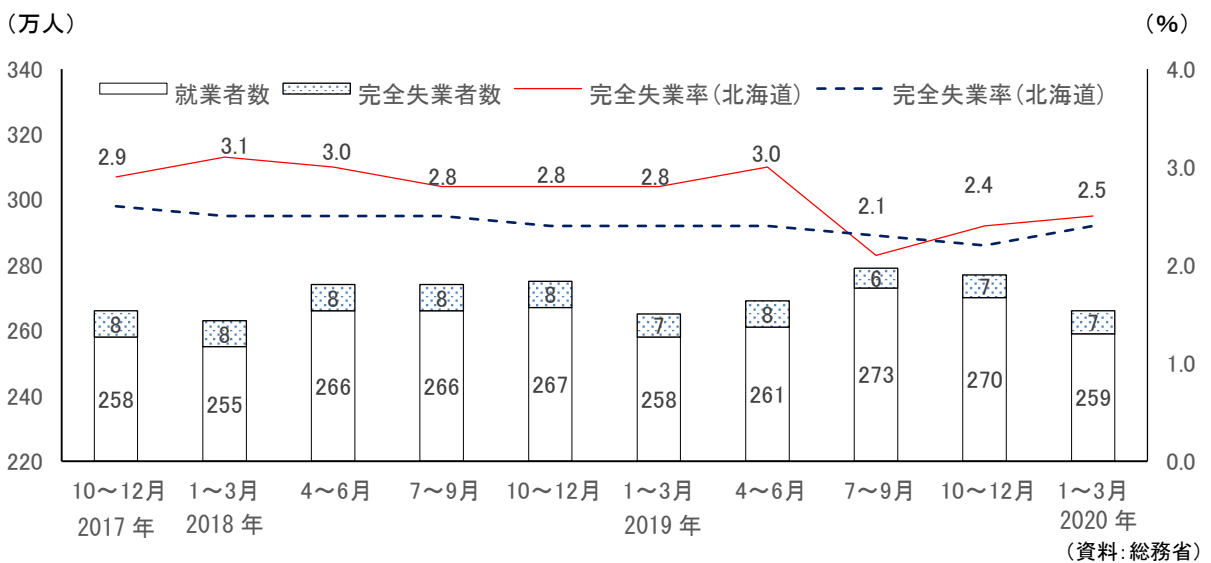
■各圏域の月間有効求人倍率（右軸は前年同月差）



(資料:北海道労働局)

完全失業者数、完全失業率（令和2年1月～3月）

完全失業者数は、前年同期と同数の7万人となっている。  
完全失業率は、2.5%で前年同期と比べ、0.3ポイント低下となっている。

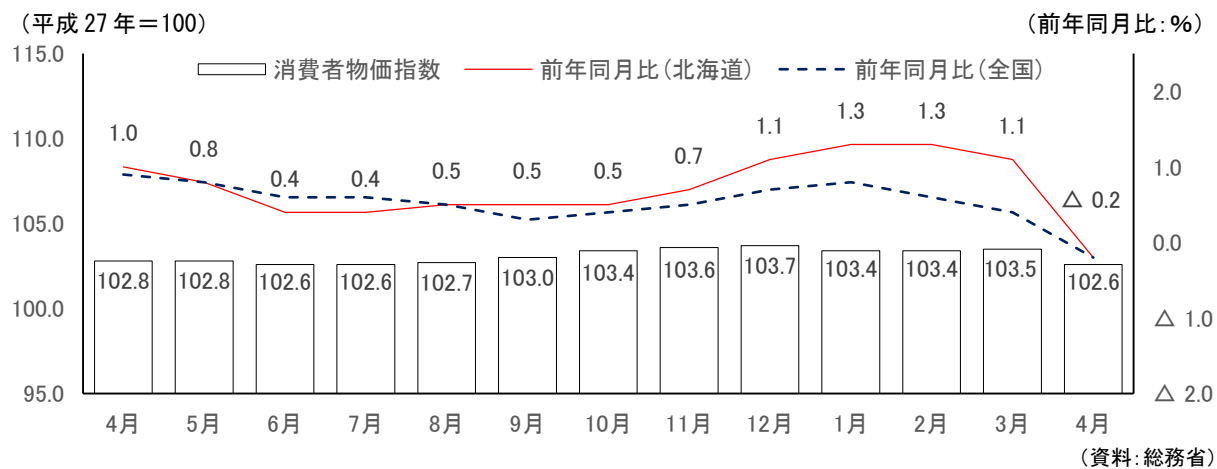


(資料:総務省)

## ■物価～消費者物価指数は前年を下回った

### 消費者物価指数（4月）

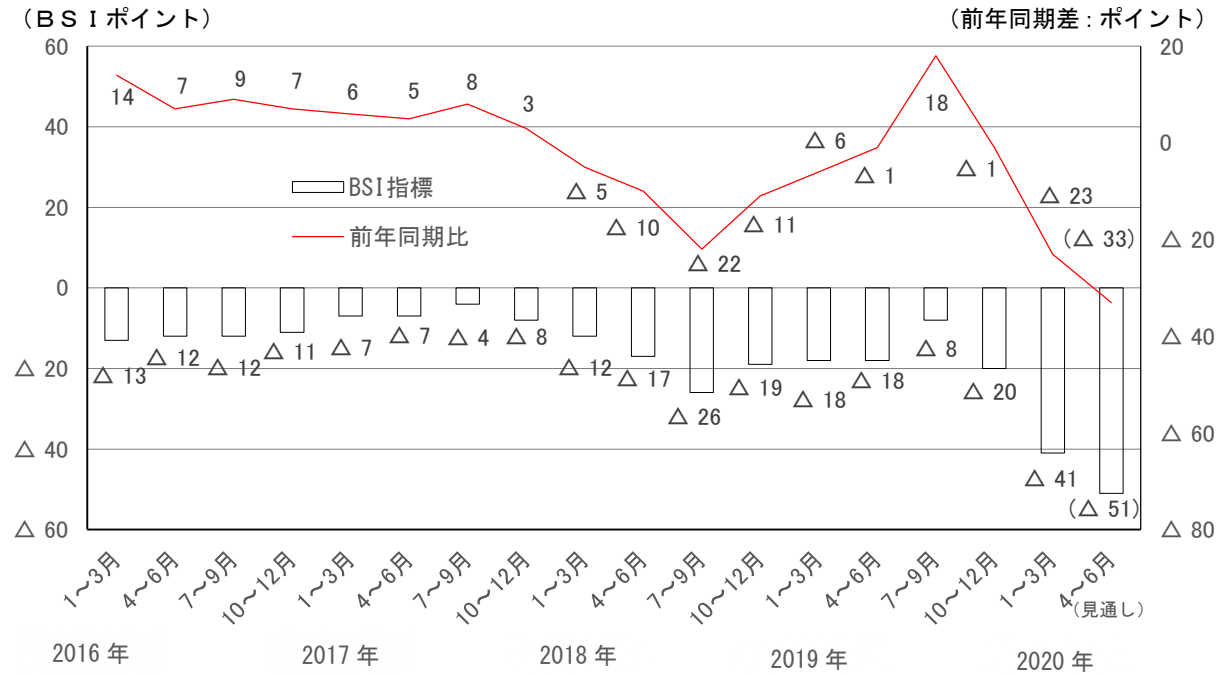
消費者物価指数（生鮮食品を除く）は、102.6で前年同月比0.2%の下降となり、41か月ぶりで前年を下回った。



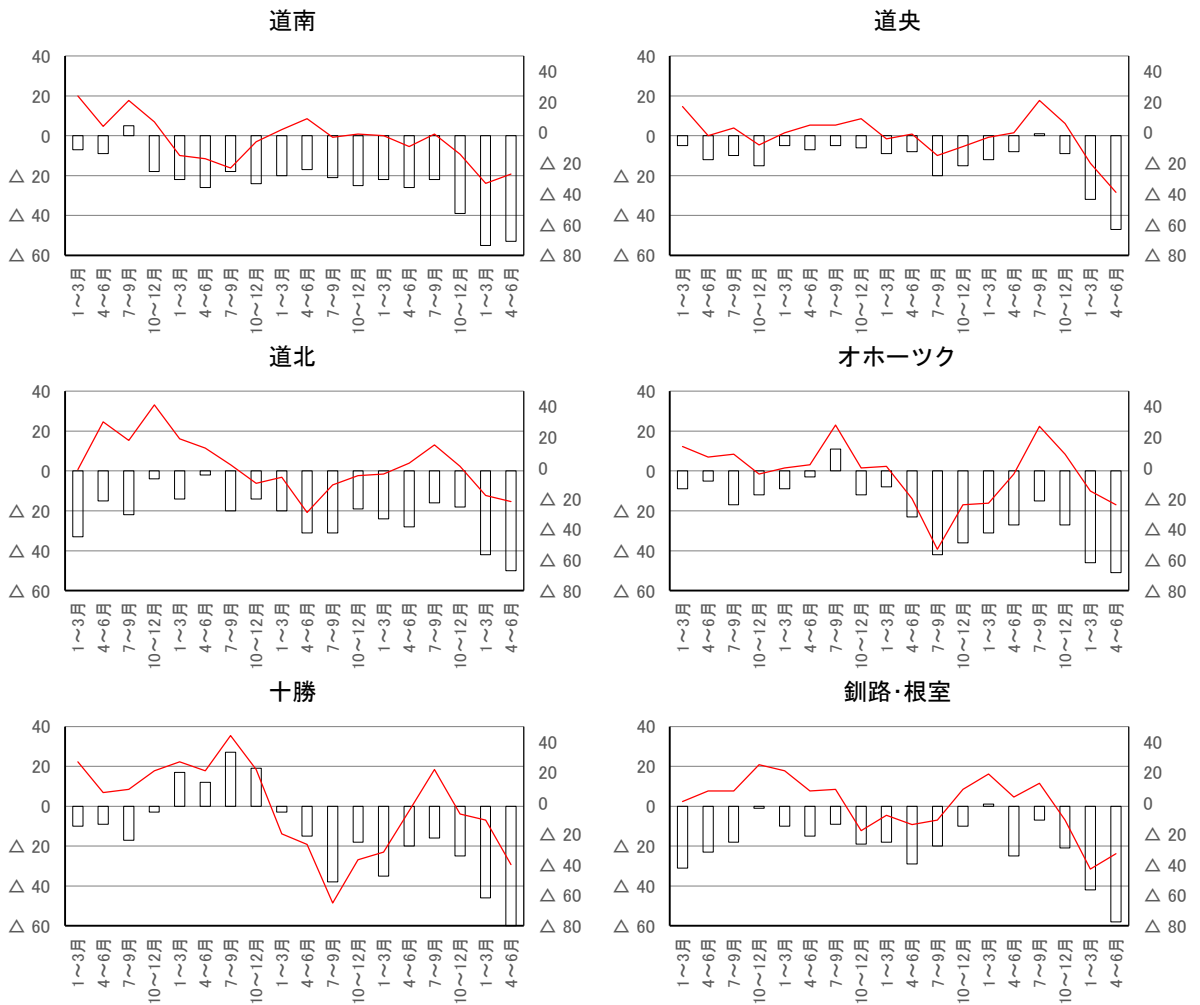


# ■企業経営者意識調査～前期から下降している

令和2年1～3月期の業況感BSIは△41で、前期から21ポイント下降しており、前年同期より23ポイント下降している。来期見通しは△51ポイントで、今期から10ポイント下降の見通しとなっている。



各圏域の業況感BSI (右軸：前年同期差)



(北海道経済部調べ)

## ■企業のみなさまから伺いました

### ◆百貨店（道央地域）

【緊急事態宣言により、売上は低迷】

5月は、食品売場は平日のみ時間短縮等で営業していたが、入店客数が大きく減少したことに加え、緊急事態宣言による移動の制限でお土産品の売上げが大きく落ち込んだことから、売上は低迷した。

### ◆スーパー（道央地域）

【混雑を避けて来店客が分散】

新型コロナウイルス感染症が拡大する前は平日よりも週末の売上の方がかなり大きかったが、拡大後は週末の盛り上がりは平日に分散するようになった。時間帯についても、混雑する時間帯を避けて買い物されていると思う。以前は朝一番が混んでいたのが、まんべんなくお客様が来店するようになった。また、買い物回数を減らして、1回の買い物の量を増やす傾向が強まった。

【低価格品が好調】

低価格品の販売が好調である一方で、幅広い価格帯の商品が売れている。巣ごもり消費が始まってから生鮮の大容量パックが売れている。

### ◆コンビニエンスストア（道央地域）

【都市部で客数減、家庭内消費にシフト】

4月の緊急事態宣言以降、巣ごもり傾向が継続しており、大型連休では5月に入っても行楽の動きがなく、厳しい状況が続いた。緊急事態宣言の解除後は売上の回復が見られるが、深夜など遅い時間帯の回復は弱い。都市部の店舗ではテレワークが徐々に広がっているためか来店客数が減少している一方、住宅地などの近場の小さな店舗で短時間で買い物を済ませようとしている様子がうかがえる。家庭内で消費する生鮮食品、乳製品、発酵食品、酒類の需要が増加しており、特に酒類については、家飲みの需要増加が顕著であり売上が増加している。

## 最近の経済動向

令和2年6月号

---

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

---

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>